



2019年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月14日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第3四半期の連結業績 (2018年8月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第3四半期	5,471	△12.8	△243	-	△285	-	△490	-
2018年7月期第3四半期	6,272	16.3	161	511.0	137	203.0	66	△37.0

(注) 包括利益 2019年7月期第3四半期 △499百万円 (-%) 2018年7月期第3四半期 11百万円 (△95.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第3四半期	△106.20	-
2018年7月期第3四半期	14.33	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第3四半期	9,444	4,481	47.4	970.82
2018年7月期	9,728	4,981	51.2	1,079.12

(参考) 自己資本 2019年7月期第3四半期 4,481百万円 2018年7月期 4,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2019年7月期	-	0.00	-	-	-
2019年7月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年7月期の連結業績予想 (2018年8月1日～2019年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△10.5	△160	-	△210	-	△450	-	△97.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期3Q	5,000,000株	2018年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期3Q	384,050株	2018年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期3Q	4,615,950株	2018年7月期3Q	4,615,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報及び経営成績の分析	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事項等	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は底堅い個人消費を背景に堅調な景気拡大が続いておりましたが、直近では米中貿易摩擦の激化に伴う景気減速懸念が高まっております。また欧州経済についても、雇用・所得環境の改善を受け、個人消費・設備投資ともに堅調に推移しておりましたが、英国のEU離脱問題等の政治リスクが懸念される状況にあります。

また、米国との貿易摩擦本格化を受け、中国経済では製造業を中心に景気減速懸念が広がりつつあり、先行き不透明感が高まってきております。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善を受け、個人消費は堅調に推移していますが、中国経済の変調に起因し、中国向けを中心に輸出が悪化しており、先行き不透明感が高まっております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車部品の電子化に伴い車載向け市場での部品需要は拡大しているものの、産業機器分野での生産調整やスマートフォンの減産の影響を受け、産業機器・通信向け市場では受注が低迷しており、総じて厳しい事業環境にありました。

このような状況を受け、当社グループは、新製品受注に向けた新ライン建設のため東北工場に先行投資を行うとともに、一層の生産性向上・合理化を図るため、鈴川工場のめっき生産機能を東北工場に統合し、プレス・めっき一貫生産体制の強化のため秦野工場のプレス量産機能を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定いたしました。

この結果、第3四半期連結累計期間の売上高は5,471百万円（前年同期比12.8%減）、営業損失は243百万円（前年同期は営業利益161百万円）、経常損失は285百万円（前年同期は経常利益137百万円）、また、親会社株主に帰属する四半期純損失は第2四半期で減損損失を計上したこと等から、490百万円（前年同期は四半期純利益66百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当第3四半期連結累計期間は、受注獲得に向け積極的な営業活動を行ったものの、産業機器・通信向け市場を中心に事業環境は厳しさを増しており、売上高は前年同期比減少いたしました。このような状況を打開すべく、当第3四半期において新製品受注に向けた新ライン建設等の先行投資を行い、収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は3,147百万円（前年同期比25.9%減）、営業損失は506百万円（前年同期は営業利益79百万円）となりました。

② 中国

当第3四半期連結累計期間は、中国での環境規制強化により日本品質への評価が高まっている状況を受け、積極的な営業活動を展開することで前年同期を大幅に上回る売上高を達成することが出来、前年同期に比べ大幅に収益性が改善し、営業利益を達成いたしました。

この結果、売上高は1,238百万円（前年同期13.2%増）、営業利益は89百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

③ フィリピン

当第3四半期連結累計期間は、車載向け製品を中心に部品需要は堅調に推移しており、前年同期において収益性の悪化要因になっていた歩留り改善活動を行ってきたことにより収益性が大幅に改善し、営業利益を達成いたしました。

この結果、売上高は1,089百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は100百万円（前年同期比161.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が418百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が746百万円減少したこと等から、前連結会計年度末と比べ283百万円減少し9,444百万円となりました（前連結会計年度末は9,728百万円）。

負債は、短期借入金が374百万円減少したものの、長期借入金が683百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ216百万円増加し、4,963百万円となりました（前連結会計年度末は4,747百万円）。

また、純資産は利益剰余金が490百万円減少したこと等から、前連結会計年度末と比べ499百万円減少し、4,481百万円となりました（前連結会計年度末は4,981百万円）。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当第3四半期連結累計期間においては、通信・産業機器分野での生産調整に伴い、経営環境が厳しさを増しており、国内では前連結会計年度に比べ営業赤字が拡大していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合するとともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定しており、今後上記施策を着実に実行していくことで、当該事象又は状況を解消できると考えております。

また、当社グループは、今後必要な資金について、取引金融機関から支援を引き続き得られる見通しであり資金面で問題ないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年3月15日の第2四半期決算短信で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838,600	3,257,368
受取手形及び売掛金	2,365,365	1,618,867
製品	116,209	137,694
原材料及び貯蔵品	1,299,966	1,385,520
その他	203,279	216,458
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,823,171	6,615,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	143,049	135,883
機械装置及び運搬具(純額)	404,798	343,123
土地	1,289,972	1,226,410
リース資産(純額)	180,071	135,847
建設仮勘定	30,432	194,468
その他(純額)	161,935	165,631
有形固定資産合計	2,210,259	2,201,365
無形固定資産	24,588	25,506
投資その他の資産		
投資有価証券	516,292	466,250
その他	155,080	137,299
貸倒引当金	△1,184	△1,184
投資その他の資産合計	670,188	602,365
固定資産合計	2,905,035	2,829,237
資産合計	9,728,207	9,444,895

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	335,065	275,524
短期借入金	1,516,510	1,142,090
1年内返済予定の長期借入金	374,008	537,347
リース債務	63,404	41,313
未払法人税等	22,284	15,438
その他	576,465	463,990
流動負債合計	2,887,740	2,475,704
固定負債		
長期借入金	1,258,380	1,941,551
リース債務	180,321	149,200
退職給付に係る負債	213,962	217,368
繰延税金負債	71,376	54,210
その他	135,238	125,585
固定負債合計	1,859,280	2,487,916
負債合計	4,747,020	4,963,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	2,578,604	2,088,368
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	4,286,320	3,796,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,137	130,683
為替換算調整勘定	514,830	550,819
退職給付に係る調整累計額	3,897	3,686
その他の包括利益累計額合計	694,866	685,190
純資産合計	4,981,186	4,481,275
負債純資産合計	9,728,207	9,444,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
売上高	6,272,259	5,471,414
売上原価	5,041,058	4,628,452
売上総利益	1,231,200	842,962
販売費及び一般管理費	1,070,083	1,086,353
営業利益又は営業損失(△)	161,117	△243,390
営業外収益		
受取利息	9,336	12,912
為替差益	8,655	-
その他	18,618	20,265
営業外収益合計	36,611	33,177
営業外費用		
支払利息	27,056	34,155
支払手数料	22,076	20,137
その他	11,527	21,357
営業外費用合計	60,660	75,649
経常利益又は経常損失(△)	137,067	△285,862
特別損失		
固定資産売却損	-	611
固定資産除却損	7,708	32,079
減損損失	42,914	145,444
特別損失合計	50,622	178,135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	86,445	△463,998
法人税、住民税及び事業税	19,670	28,191
法人税等調整額	605	△1,954
法人税等合計	20,276	26,236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,168	△490,235
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66,168	△490,235

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	66,168	△490,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	352	△45,454
為替換算調整勘定	△54,679	35,989
退職給付に係る調整額	25	△211
その他の包括利益合計	△54,301	△9,676
四半期包括利益	11,867	△499,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,867	△499,911

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。